

【学校通信「はぐま」より】

3月1日に第41回卒業証書授与式を挙行了しました。

学校通信「はぐま」No.170には、PTA会長、担任・副担任から卒業生に贈る言葉が載せてあります。当ホームページにアップしてありますので、ぜひご覧下さい。

私は、次の文章を載せ、卒業生に餞の言葉を贈りました。

Stay hungry, Stay foolish.

ご卒業おめでとうございます。

標題の言葉は、スティーブ・ジョブズが2005年、米国スタンフォード大学の卒業式でスピーチをした折、その最後で語った言葉です。誰もが高性能のパソコンを日常的に使えるスマートフォン iPhone を世に出したスティーブ・ジョブズ、「世界を変えた人」と言われるほど世界に大きな影響を与えた人です。

彼はスピーチで社会に巣立つ卒業生に、決して順風満帆ではなかった自身の人生をもとに、失敗や困難に対峙した時の葛藤を語り、そこから得た教訓を三つ語りました。

一つ目は「点と点をつなぐこと」について。育ての親が生活費をはたいて入れてくれた大学を自ら退学、その後も大学に居残り、興味をもったカリグラフィを学んだことが後にパソコンの美しいフォントの装備となった。将来を予め見据えて点を打つことはできない。「削る、捨てる、やらない」ではなく、「足していく」ことが豊かな人生につながる。

「全てのことに意味がある」と思うと前向きになれます。

二つ目は「愛と敗北」について。自ら作った会社アップルをクビに。アップルを離れたことで、人生で最も創造的な時期を迎えることができた。妥協せず心から愛する仕事を続ければ悔いのない人生を送られる。

三つ目は「死」について。(スピーチの1年半前に膵臓ガンで余命半年の宣告。2011年に56歳で他界)。死の危機に直面した時、彼は自分がしがらみに囚われていることに気づく。限られた人生、自分の内なる声を大切に、安易な選択をしない。

最後に語った“Stay hungry”は「現状に満足するな」ということ。人間一人が得られる知識など知れたもの。様々な経験をしようとするればその道は必ず開ける。

“Stay foolish”は、裏を返せば「賢いと思うな。『自分は発展途上である』という謙虚さを忘れないように」ということ。

皆さんは、本校において校訓「篤志」の目指す三つの人間像のもと、自ら求めて学ぶ方法や態度を体得してきました。これらを胸に刻み、生涯にわたって真摯に学び続ける姿勢を持ち続けてください。次代を担う皆さんに期待しています。